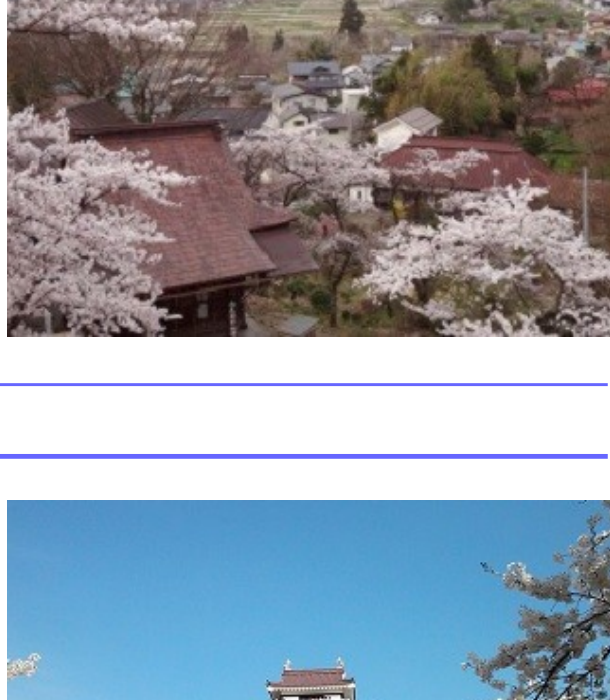


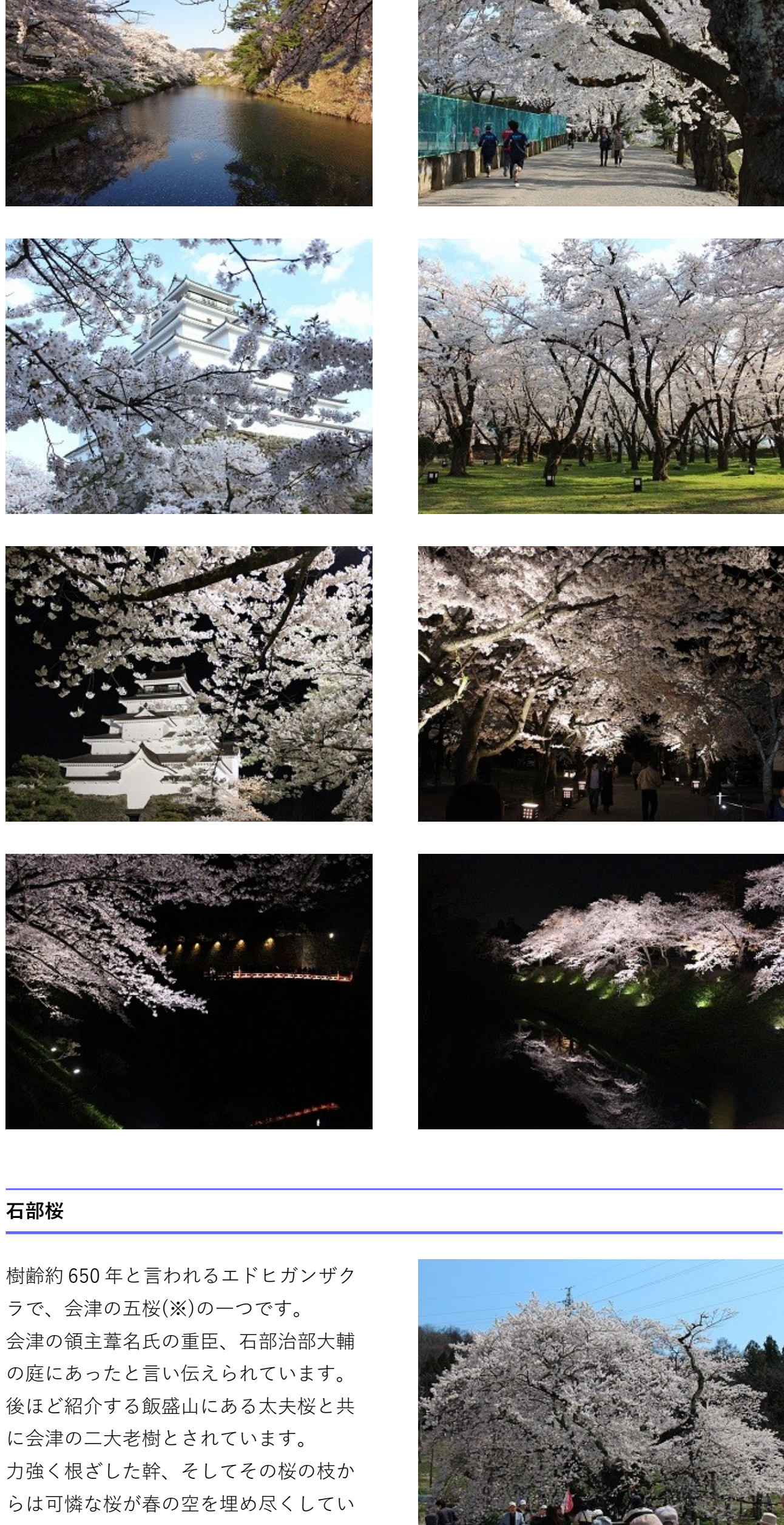
桜花爛漫～会津の桜の名木を訪ねて～

会津若松市に待ちに待った春が訪れ、今年も色とりどりの桜が各所で爛漫と咲き誇り、我々の目を楽しませてくれました。
さて、会津若松市には名木といわれる桜があります。
今回のフォトアルバムでは、桜とその歴史・背景を思い浮かべながら、いつもとは違うお花見をご紹介します。



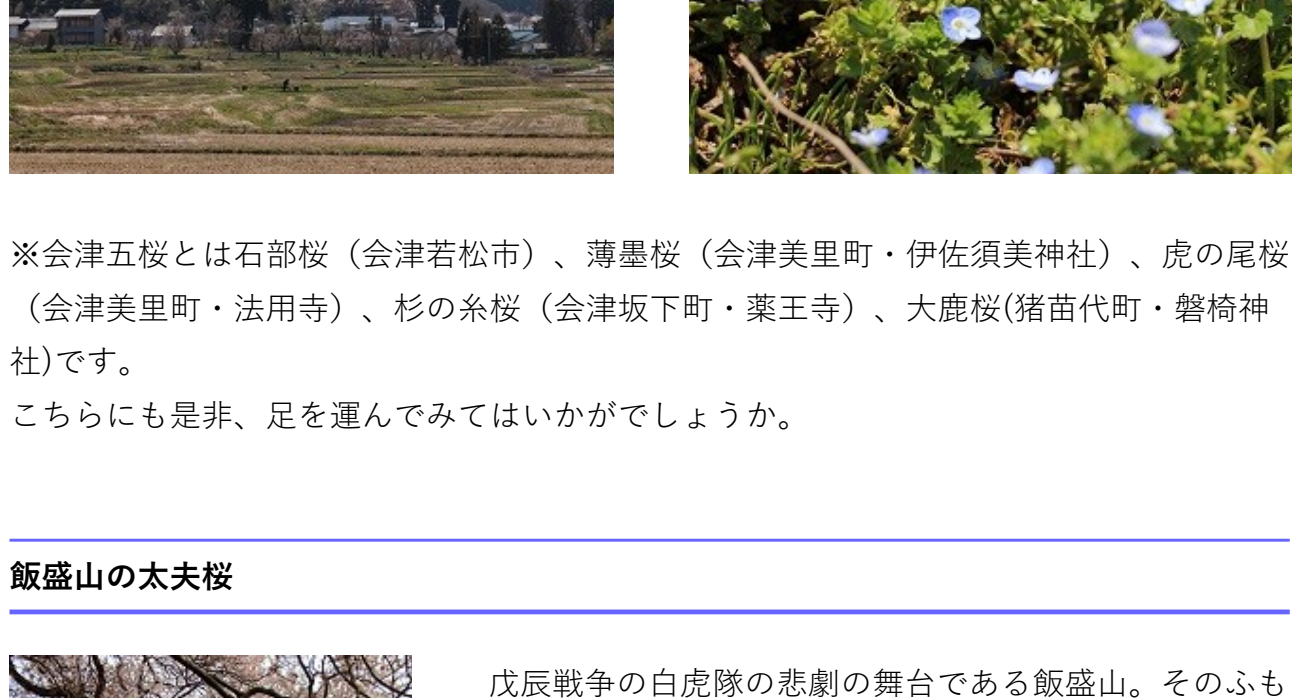
鶴ヶ城の桜

鶴ヶ城の桜は、日本さくらの会による「日本さくら名所100選」の地に指定されています。
多くはソメイヨシノですが、八重桜や長野県の旧高遠町(現在は伊那市)から寄贈されたコヒガンザクラなどがあり、パールピンクやチェリーピンクに染まった桜が色とりどりに咲き乱れています。
全国からも大勢の観光客がこの桜を目的地に訪れています。
撮影の日には、近郊の園児や学生の姿も見受けられ、地元人からも愛されている事がうかがえます。
ライトアップされた夜桜もまたおすすめです。
(撮影日 2014/4/20、4/23)



石部桜

樹齢約650年と言われるエドヒガンザクラで、会津の五桜(※)の一つです。
会津の領主輩名氏の重臣、石部治部大輔の庭にあったと言い伝えられています。
後ほど紹介する飯盛山にある太夫桜と共に会津の二大老樹とされています。
力強く根ざした幹、そしてその桜の枝からは可憐な桜が春の空を埋め尽くしています。
(撮影日 2014/4/23)



※会津五桜とは石部桜(会津若松市)、薄墨桜(会津美里町・伊佐須美神社)、虎の尾桜(会津美里町・法用寺)、杉の糸桜(会津坂下町・薬王寺)、大鹿桜(猪苗代町・磐梯神社)です。
こちらにも是非、足を運んでみてはいかがでしょうか。

飯盛山の太夫桜

戊辰戦争の白虎隊の悲劇の舞台である飯盛山。そのふもとにある「白虎隊記念館」のそばに太夫桜があります。
樹齢は200年とも300年ともいわれ、斜面に根をはり空へ向かって力強く伸びています。
その由来には悲しい出来事があったようです。
以下、説明板より抜粋
「寛永3年(1626年)、蒲生忠郷公在城の頃、若松城下の掘江町にいたつき太夫と云う名妓が、花見のおり、この辺で兇徒のために殺害された。弟を南秀という滝沢南岳院の法師がこれを大変悲しみ、霊を弔うために、墓側に植えられた桜で、その樹はすでに枯れ、現在の樹は二代目と伝えられている。」

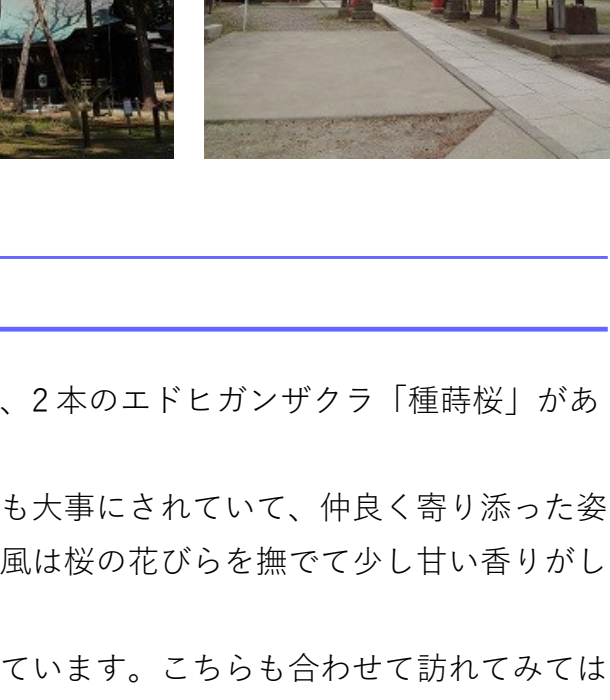


撮影の日もたくさんの花をつけ、私たち訪れるものを癒してくれていました。古木ではありますが、来年もまた優しい花を咲かせてくれるのでしょうか。
(撮影日 2014/4/22、4/23)



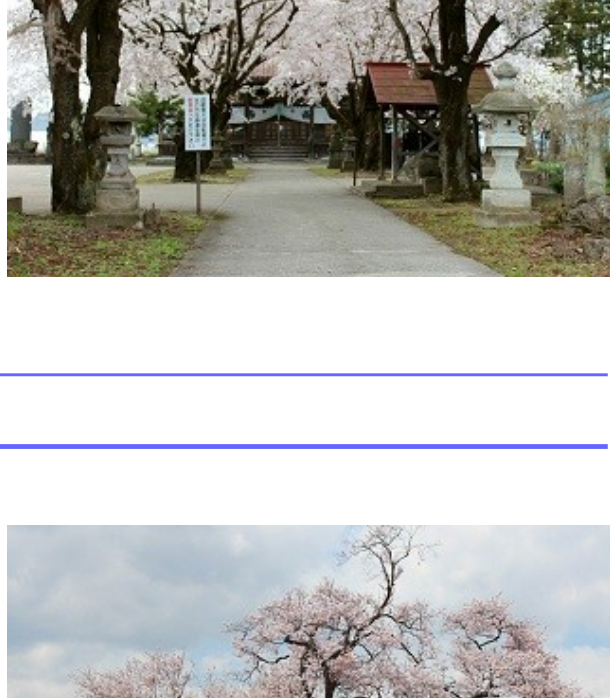
蚕養神社の峰張ザクラ

蚕養国神社は、昔から蚕養の神様として広く知られ、農・工・商・諸業繁栄、交通安全の守神として信仰されています。峰張ザクラはその境内にある御神木で、樹齢1,000年以上と伝えられる老樹です。
拝殿右前に厳かにたたずむ峰張ザクラは、時を超えた生命力を感じさせる力強さと、すべてを優しく包み込んでくれる包容力を感じさせてくれます。
毎年執行される桜花祭には、神社奉製の濁酒が振舞われます。
(撮影日 2014/4/18、4/23)



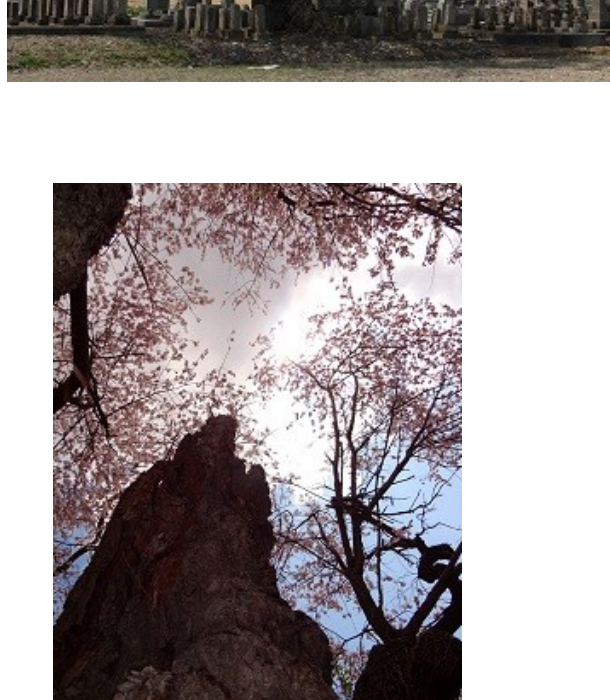
一ノ堰羽黒墓地の種蒔桜

会津若松市の南部の、のどかな田園風景の中に、2本のエドヒガンザクラ「種蒔桜」があります。
種もみの蒔き時を告げる桜として地元の住民にも大事にされていて、仲良く寄り添った姿からは「夫婦桜」と呼ばれています。時折吹く風は桜の花びらを撫でて少し甘い香りがしました。
近くには六地藏堂があり子供の守り本尊とされています。こちらも合わせて訪れてみてはいかがでしょうか。
(撮影日 2014/4/23)



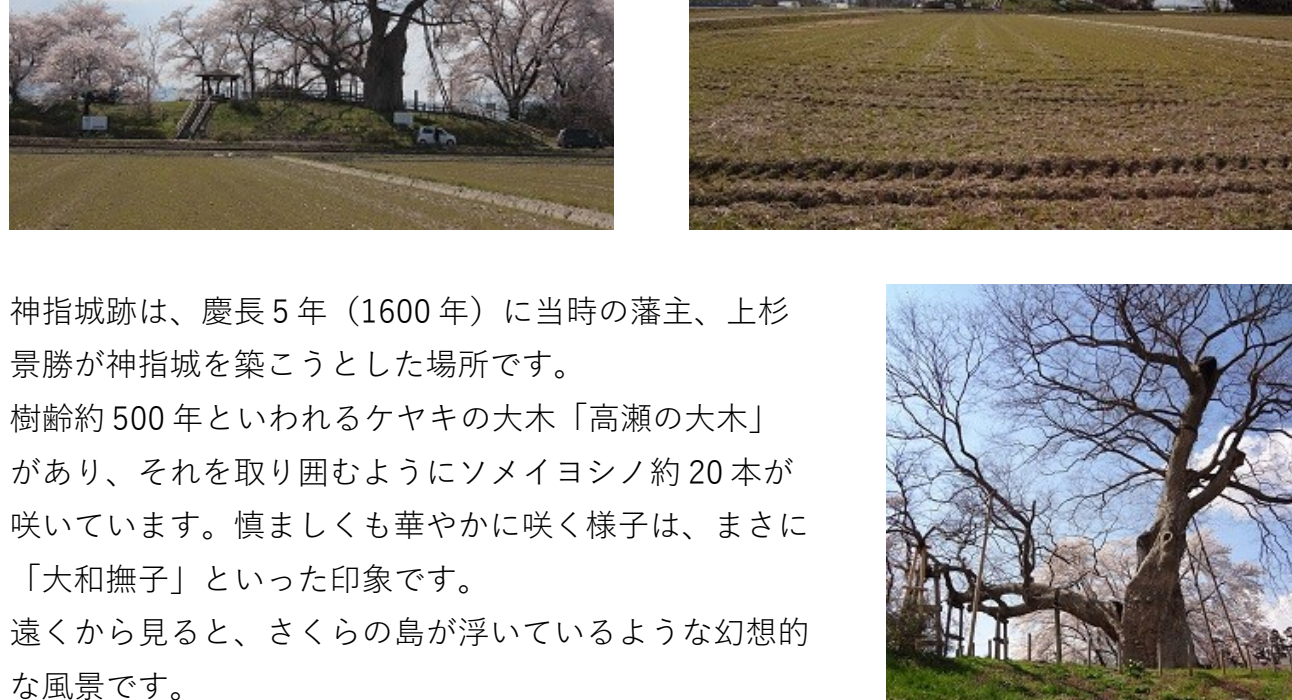
東麻生の種蒔桜

ゆたかな自然に抱かれた会津若松市北会津地区。
また雪がかぶった飯豊山を北西に種蒔桜が墓地を包み込むように行んでいます。
会津若松市の中でもトップクラスの巨木と知られていて、幹が2つに分かれた形になっています。
仲の良い二人が寄り添うように佇む姿を想像させ、雄大といった感じよりはしとやかな感じを受けます。
(撮影日 2014/4/23)



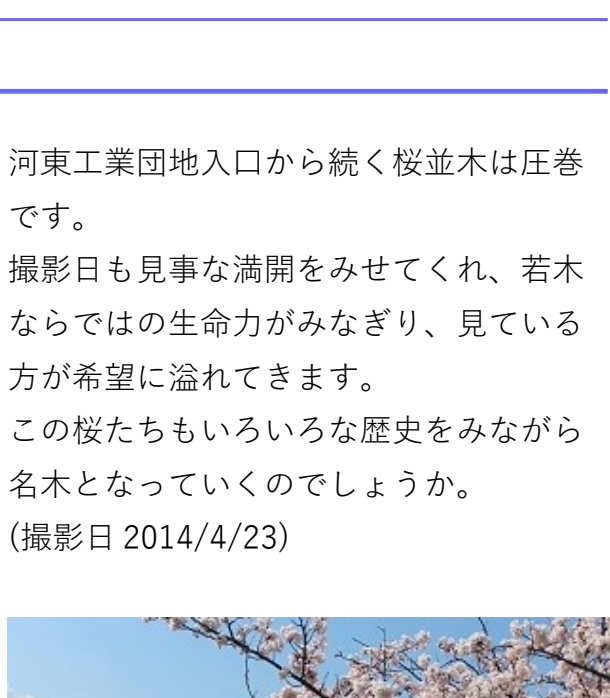
建福寺境内のシダレザクラ

建福寺は会津藩初代藩主保科正之ゆかりの寺です。
その境内に天から桜が降り注いでいるような、幻想的なシダレザクラがあります。
桜の花を多くつけた枝はさらに垂れて風になびいていました。
その姿からはお辞儀をしているようで華やかながらもつつましさを感じました。
(撮影日 2014/4/18)



神指城跡の桜

神指城跡は、慶長5年(1600年)に当時の藩主、上杉景勝が神指城を築こうとした場所です。
樹齢約500年といわれるケヤキの巨木「高瀬の大木」があり、それを取り囲むようにソメイヨシノ約20本が咲いています。慎ましくも華やかに咲く様子は、まさに「大和撫子」といった印象です。
遠くから見ると、さくらの島が浮いているような幻想的な風景です。
(撮影日 2014/4/23)



河東工業団地の桜

河東工業団地入口から続く桜並木は圧巻です。
撮影日も見事な満開をみせてくれ、若木ならではの生命力がみなぎり、見ている方が希望も溢れてきます。
この桜たちもいろいろな歴史をみながら名木となっていくのでしょうか。
(撮影日 2014/4/23)

